

平成20年度 音楽部 研究活動のまとめ

南丹・船井小学校教育研究会

<p>《研究主題》</p> <p style="text-align: center;">さまざまな活動を通して音楽のよさを感じ取る児童の育成 ～聴き合い・響き合い・伝え合い～</p>
--

第 一 回	日時	平成20年 6月4日(水) 13:40 ~ 16:30
	会場	南丹市立大野小学校
	研究 の 概 要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業公開 (13:40 ~ 14:25) 第5・6学年 「すてきなハーモニー ～きれいなひびきをつくろう～」 取扱教材 オーラリー他 2. 研究協議 (14:40~) (1) 事後研 (2) 指導講評及び新指導要領(音楽科:今後の方向性等)について 講師 南丹教育局指導主事 3. その他 今後の日程について
第 二 回	日時	平成20年 7月23日(水) 14:00 ~ 16:30
	会場	京丹波町立竹野小学校:若竹センター
	研究 の 概 要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 講演・実技研修 「子どもの学ぶ楽しさを目指した授業のあり方」 <ul style="list-style-type: none"> ・心を育てる教師のあり方 ・授業の進め方 ・鍵盤ハーモニカの指導法 ・様々な楽器の奏法
第 三 回	日時	平成20年 11月26日(水) 13:45 ~ 16:30
	会場	京丹波町立竹野小学校
	研究 の 概 要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業公開 (13:45 ~ 14:25) 第1学年 おとのたんけん 「おとのマーチ」 取扱教材 おとのマーチ他 2. 研究協議 (14:40~) (1) 事後研 (2) 指導助言 講師 京都府総合教育センター北部研修所 研究主事兼指導主事 3. その他

<p>本年度の研究で明らかになった内容</p>	<p>(1)成果 <研究授業から> ・形態を工夫し聴き合うことが出来ていて、児童は互いの音楽の良さに気付いていた。 ・自分の思いを演奏に表現できている児童が観られた。 ・継続的な指導により美しい歌声がつけられていた。 <実技研修から> ・豊かな人間性や社会性・学ぶ心や音楽を愛好する心情などを育てることの大切さやについて学ぶことができた。 ・鍵盤ハーモニカ他学校で扱う楽器の基礎的な知識や奏法について研修することができた。</p> <p>(2)課題 ・新学習指導要領の改訂内容の趣旨等の理解に努め授業改善を図る。 ・音楽のよさを感じ取らせ、音楽性を育むことができる音楽活動の研究を進める。(思いを引きだし育て、音楽に繋がる授業・音楽活動の工夫) ・他教科や学校行事等との関連も図りながら新学習指導要領による年間指導計画の見直しを進め充実を図る。 ・指導者自らの音楽性や指導技術の向上のための研修の充実を図る。</p> <p>(3)その他</p>
<p>来年度への研究課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽部会運営体制について 南・船支部は府小研部長担当支部である。平成21年度は近畿音楽研究大会が京都で開催され、実行委員（副委員長）にあたっている。本部会運営体制を整えていく必要がある。 ・研究主題について 府小研及び研究協力校の主題に合わせ、南・船支部も以下のようにすること 「さまざまな活動を通して音楽のよさを感じ取り、生き生きと表現する児童の育成」 ～聴き合い・響き合い・伝え合い～ ・平成22年度に研究大会開催予定である。研究大会の充実のためには2年目の研究が大切である。研究協力校丹波町立竹野小学校と緊密な連携をしながら、主題に沿い内容も焦点化しながら研究を進めていくこと また、音楽科にあっては総合教育センター（北部研修所）との共同研究も始まり、本年度は研究協力校を中心に共同研究が進められてきた。その点から本部会も連携を図りながら研究を充実させていくことが大事である。 ・専門研究員との共同研究を充実させたい。 ・新指導要領の考え方や内容について引き続き研究を深めていく。
<p>その他の研究活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度近畿音楽教育研究大会京都大会 10月30日（金）於京都会館京都府小学校教育研究会から研究協力校京丹波町立竹野小学校が全体会に研究演奏団体として出演予定である。 京都開催であるということ、南・船からの出演ということもあり、研究支援及び当日は多くの先生方の参加を得たい。